

科目名	デザインプロセス論演習 [インテリア] (卒業必修)		
授業形態	演習	学年	1
開講時期	2021年度 前期	単位数	2
担当教員	柴崎 恭秀		
内容および計画	ここでは、デザインプロセス論 (インテリア) の講義と対の関係で関連する演習を行なう。インテリア・建築デザインのより実践的な方法論の理解を深め、デザイン行為の進め方を学ぶ。		
1	デザインテーマの発見と発想		
2	デザインの調査		
3	デザインの調査・分析		
4	デザインの分析・課題		
5	プランニング (アイデア展開、エスキース、スケッチ)		
6	デザインの評価と判定		
7	プランニング (設計)、行為・生活の記号化、配置、構造		
8	モデリング、かたちと空間の構成		
9	モデリング、心理と空間の構成		
10	モデリング、造形表現 (空間の発想)		
11	モデリング、寸法とモジュール、動作寸法と動作空間		
12	モデリング、素材と色		
13	モデリング		
14	プレゼンテーション準備		
15	プレゼンテーション		
教科書			
	タイトル	著者名	出版社
適宜資料を配付する			
参考書	1) 宮宇地一彦 『デザイン脳を開く・建築の発想法』 彰国社 2) 宮後浩 『インテリアプレゼンテーション』 学芸出版社 3) エクスナレッジムック編集 『ラクラク建築模型マニュアル』 エクスナレッジ 4) インテリア産業協会編 『暮らしとインテリア1・2』 産能大学出版部		
成績評価			
	評価方法	割合(%)	
	創造性、展開性、統合性など	50	
	提出課題	30	
	出席状況	20	
学習到達目標	インテリア・建築デザインの思考プロセス及びデザイン行為の考え方・進め方をデザインプロセス論 (インテリア) とともに学び身につける。		

先修条件	
実務経験	実務経験あり:大手設計事務所にて勤務後、設計事務所を設立。キャンパス計画や集合住宅、住宅等のインテリア・建築デザインに15年以上従事してきた。一級建築士として20年以上の経験を有す。この経験をもとに、インテリアデザイン、建築デザインの基礎、応用について教授する。
その他	